



畑地の飼料生産

秋まき飼料作物のとり入れ方

暖地での寒害、雪害の多かった今春の

飼料減収を夏、秋作で挽回しましょう

暖地の裏作飼料栽培で今春程寒さや雪で傷めつけられたことはなかったと思われれます。東京湾でオットセイがとれたり、ニシンがとれたり、また瀬戸内海附近では寒流のため魚が死んだとか、確かに異常な春で飼料の減産もやむを得なかったと言えはそれまでですが、この挽回は早目に、この春の裏作からサイレージや、乾草をと計画された方は今冬の裏作では間に合いません。

今すぐ、**青刈類**を播きましょう

(一) サイレージ、乾草にもなる 晩まきデントコーン (もろこしなば)

○麦やナタネの夏作跡地になるべく早く(七月下旬〜八月上中旬)一〇ギ当り一〇ギ程度の種子を密条播か、手間のない時はバラまきをします。

○肥料は速効性のものを用い、燐酸は多目に、バラまきは三割ぐらいの増肥を、そしてなるべく肥沃地に。

○品種は晩生種程よく伸長しますから、黄色、白色種及び一代雑種を利用します。

(二) スーダングラスの一度刈りて乾草、サイレージを夏まきで秋までには草丈二〜三呎に達し、稈の細いスーダングラスは上等の乾草にもなり、サイレージにも切込めます。一〇ギ当り四、〇〇〇ギ(乾草にして乳牛一頭の一冬分に必要は一、〇〇〇ギ)はとれます。

(三) 青刈麦類とイタリアンライの混播でも乾草やサイレージを

早まきしたものは年内充分一回刈取りが出来、その後再生したもので越冬翌春は一般裏作と同様収かく出来します。えん麦五〜六ギとイタリアン一ギ混播が作り易く、幾分湿りのある土地に多肥栽培を。更に多収を望むときはマンモスイタリアンを利用下さい。

農業災害は忘れない中にまたやって来る

恒久対策に**牧草地**の造成を

「災害は忘れた頃にやって来る」とは寺田寅彦先生の名警句ですが、農業災害は忘れない中にやって来ます。

何十年、何百年振りの寒波だ、雪だったと、それで安心は出来ません。また来るものと恒久対策を、雪や寒さに弱い青刈一辺倒では不安ですから、小面積でも寒さや雪に強い牧草を造成、災害時に備えましょう。

乾草やサイレージ材料取得を目的とした草地は、**永年牧草の混播**で

(一) 赤クローバー一〇ギ、ルーサン一〇ギ、ラデノクロバー一〇二五ギ、オーチャード一〇ギ、トールオートグラス一〇ギ、ブROOMグラス一〇ギぐらいの混播がよいでしょう。(その他の混播例は一頁参照)

(二) 播種の適期は秋です
秋は畑地の雑草も少なく、発芽後の温度も牧草生育に好適です。

(三) 牧草多収の肥培法としては

○深耕し(三〇〜四〇ギ)石灰を施すこと。
○加里を全層に亘り多くすること。(牧草は窒素と同量程度の加里が必要)

○水分の供給をよくすること。(灌水できれば理想)
○火山灰地では燐酸を充分補給すること。(燐施用)

(四) 施肥は麦作の二倍以上はやりましょう。
秋には炭カルまたは菌核防除もかねて消石灰を一〇〇ギ前後散布します。

畑地

秋まきにはこの品種を

○赤クロババー(ケンランド、ペネスコット)

乾草づくり、放牧地には必ず赤クロババーが主役となります。赤クロババーの中でも炭疽病に強く、夏がれに強く多収なケンランド。暑熱に強く、初期生育旺盛で秋まき夏どりの一年栽培で最も多収なペネスコットの両品種は暖地には絶対自信をもってお奨め出来ます。

○イタリアンライグラス(マンモス・イタリアン)

初期生育が早く、再生力旺盛。又葉、莖共に巨大で四〜五割も収量の多い四倍体品種のマンモス・イタリアンが有利です。

○ペレニアルライグラス(マンモス・ペレニアル)

マンモス・イタリアン同様、葉莖共に巨大で収量の多い四倍体品種です。再生力も旺盛な三〜四年草です。

○ルーサン(デュビー、ナラガンセット)

暑熱、早刈に良く耐え、再生力旺盛、乾物量が多く、しかも栄養価はまめ科牧草の中で最も優れております。必ず根瘤菌を接種して下さい。

○H・ワンライグラス

イタリアンライグラスとペレニアルライグラスとの交配種で三〜四年生、両者の長所を備えている優良種。ラデノクロババーとの混播がとくに良い。

○プロームグラス

いね科牧草中最も蛋白成分が高く、嗜好性も良い。ルーサンとの混播がとくに有利で、暖地ではマウンテンプロームを短期刈草用として、高冷地ではスミズプロームを永年刈草用として利用するのが有利です。

○ソルゴー(雪印ハイブリッド)

暑熱と乾燥時に良く生育する耐暑性のソルゴーの内、雪印ハイブリッドは、初期生育早く、青刈収量多く、再生力旺盛な一代雑種です。

○ライ麦(ペトケーザ四倍体)

蛋白を多量に含む葉が大きく、草丈も良く伸び、草全体が大型ですから当然多収です。

○青刈えんばく(太豊、豊葉、雪印一〇一、岡山黒)

全国どの地帯でも前進、ビクトリーよりも青刈収量の多いのが太豊、豊葉、一〇一で、この使いわけは一回刈用には太豊、耐寒性が強く、再生力の旺盛な二〜三度刈用としては豊葉、一〇一、また春の早刈用には岡山黒が適当です。

畑地秋まき飼料作物の栽培基準表

夏まき秋どりに利用できる飼料作物			
作物名	地方	播種期	播種量
デントコーン	東 北	七下〜八上	八〜一〇〇
	東 東	七下〜八中	五〇〜六〇×条播
	北 陸	七下〜八上	または散播
	西南暖地	七下〜八下	
ひまわり	東 北	七下〜八中	五〇〜六〇×条播
	東 東	七下〜八中	五〇〜六〇×条播
	東 東	七下〜八中	五〇〜六〇×条播
早生系	東 北	七下〜八中	五〇〜六〇×条播
	東 東	七下〜八中	五〇〜六〇×条播
	東 東	七下〜八中	五〇〜六〇×条播
かぶ	東 北	七下〜八中	五〇〜六〇×条播
	東 東	七下〜八中	五〇〜六〇×条播
	東 東	七下〜八中	五〇〜六〇×条播

冬作に利用できる飼料作物			
作物名	地方	播種期	播種量
えんばく	東 北	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
ライ麦	東 北	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
イタリアンライグラス	東 北	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
Hワンライグラス	東 北	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
クリムソンタロバー	東 北	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
パーシムクロババー	東 北	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
レーブC・O	東 北	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
※かぶ	東 北	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
ルタバガ	東 北	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または
	東 東	八中〜一〇中	散播または

地力増進兼用の飼料作物			
作物名	地方	播種期	播種量
クリムソンタロバー	東 北	九上〜一〇上	一〇〜二〇
パーシムクロババー	東 北	九上〜一〇上	一〇〜二〇
赤クロババー	東 北	九上〜一〇上	一〇〜二〇
ラデノクロババー	東 北	九上〜一〇上	一〇〜二〇
※ニュージーラン	東 北	九上〜一〇上	一〇〜二〇
ド白クロババー	東 北	九上〜一〇上	一〇〜二〇
イタリアンライグラス	東 北	九上〜一〇上	一〇〜二〇
Hワンライグラス	東 北	九上〜一〇上	一〇〜二〇
ペレニアルライグラス	東 北	九上〜一〇上	一〇〜二〇

(注) ※乾燥地、傾斜地はニュージーランド白クロババーがよい。

(注) ※栽培期間が短い場合は紫丸かぶ、長い場合は下総かぶ、セブントップなどが良い。